

**令和4年度 利府町標準学力調査の結果分析と改善案（4学年）**

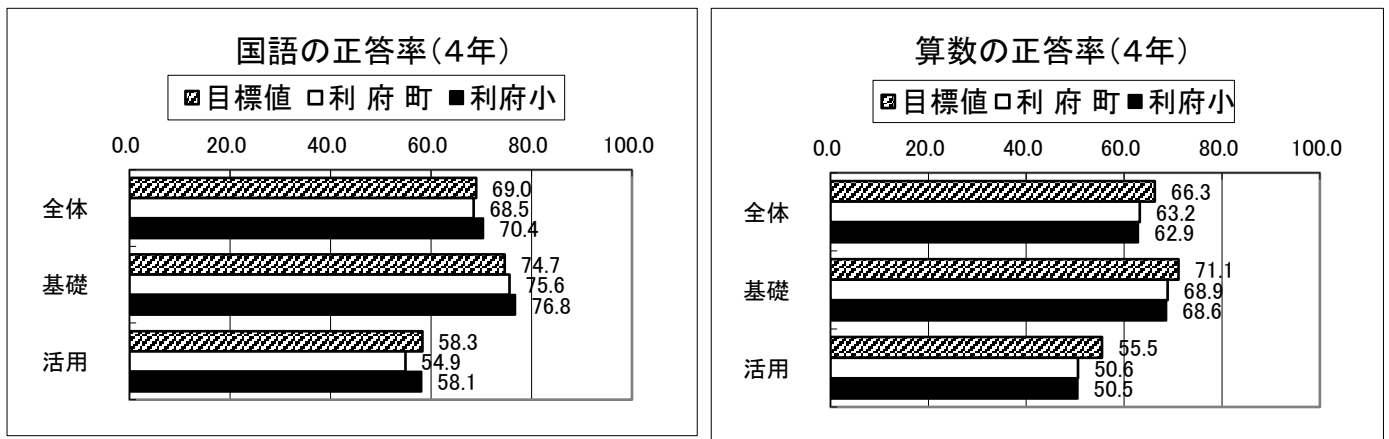
春寒の候、保護者の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。

つきましては、ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

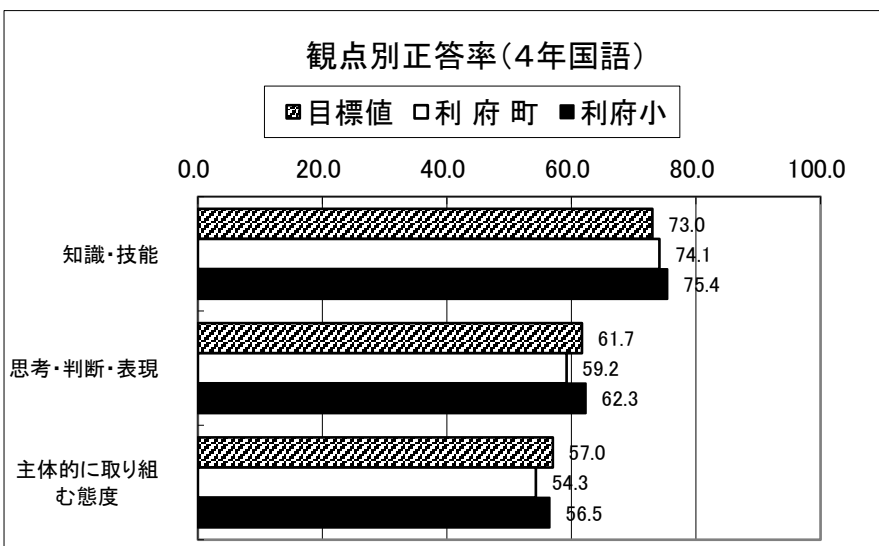
**4学年全体の結果から**

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



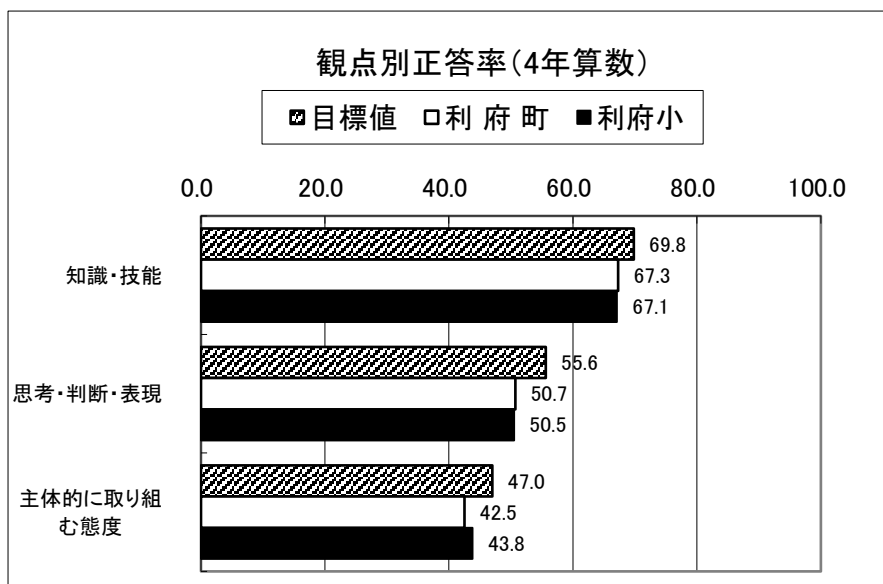
- ・ 国語については、全体で1.4ポイント目標値を上回っています。基礎では2.1ポイント目標値を上回り、活用では0.2ポイント下回っていますが、ほぼ学習内容が身に付いていることが分かりました。
- ・ 算数については、全体で3.4ポイント目標値を下回っています。基礎では2.5ポイント、活用では5ポイント目標値を下回っていることから、学習内容の習得に偏りがあることが分かりました。

**【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題とその改善案**



- ◎ 物語の内容を読み取る問題において、登場人物の行動や気持ちを捉える問題の正答率が高くなっていました。
- ◎ 話し合いの内容を聞き取る問題において、話し手の工夫を捉える問題の正答率が高くなっていました。
- 説明文の内容を読み取る問題において、段落相互の関係を捉える問題の正答率が低くなっていました。文頭の言葉だけで内容を判断している傾向が見られたので、最後まで文章を読むことの大切さについて指導していきます。

【算 数】◎ よくできていた点 ● 課題とその改善案



- ◎ わり算の文章問題を読み、その関係を正しく表した図を見付けたり、立式をしたりする問題の正答率が高くなっていました。
- ◎ 方眼を活用して垂直な直線を見付ける問題の正答率が高くなっていました。
- 180度よりも大きな角度を求める問題の正答率が低くなっていました。複数の求め方があるので、それぞれのやり方を再度確かめ、活用できるように取り組ませていきます。

## 個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

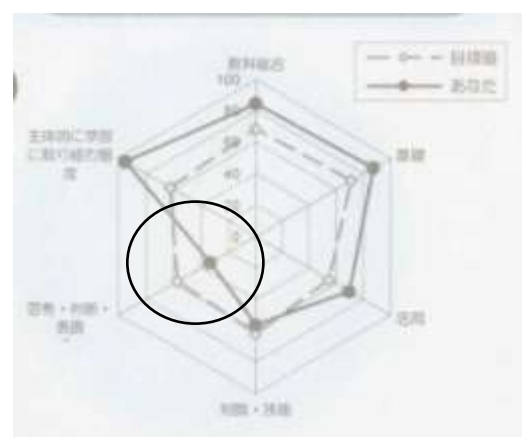
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校4年 算数

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
わり算	80.0	82.5	○
小数	87.5	77.9	◎
角の大きさ	65.4	81.4	▲
▲の評価である「角の大きさ」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。